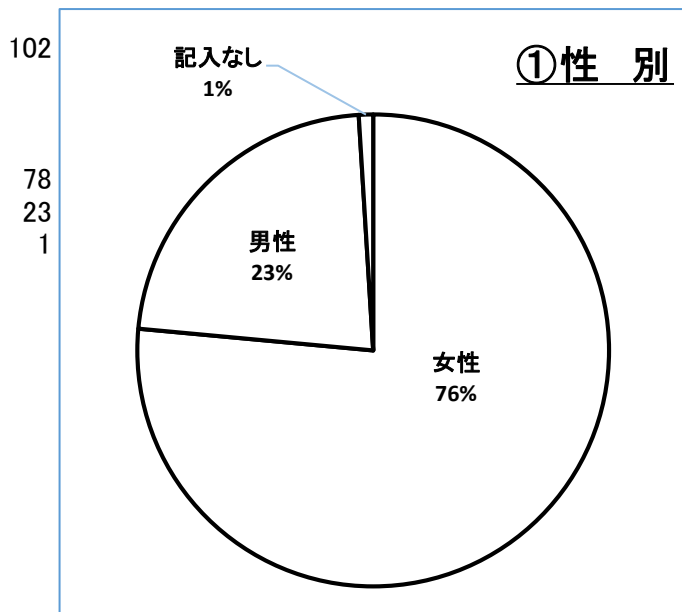


設立50周年記念大会でのアンケート結果の報告

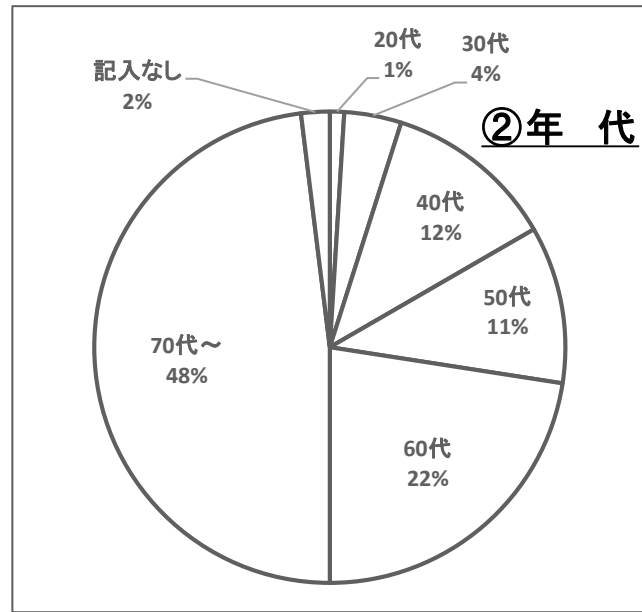
50周年記念大会 アンケート集計 回収枚数 102枚

総合計

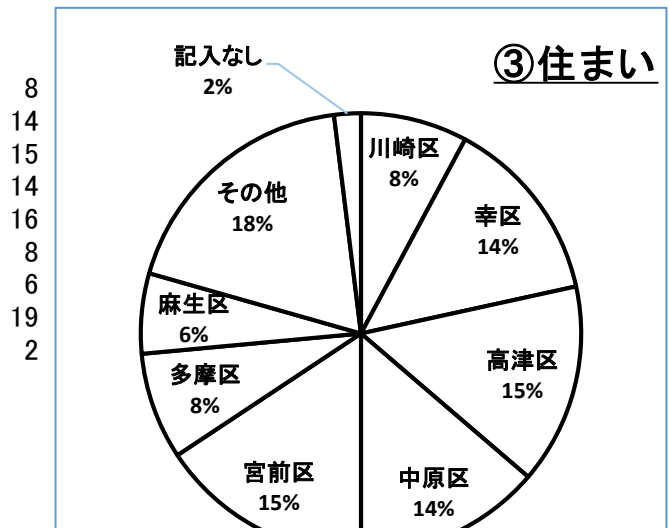
①性別
女性 76
男性 23
記入なし 1



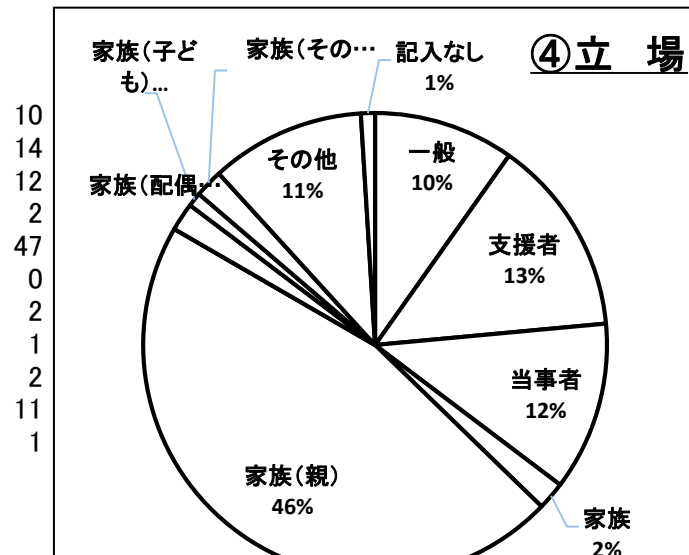
②年代
20代 1
30代 4
40代 12
50代 11
60代 23
70代～ 49
記入なし 2



③住まい
川崎区 8
幸区 14
高津区 15
中原区 14
宮前区 14
多摩区 16
麻生区 8
その他 6
記入なし 19



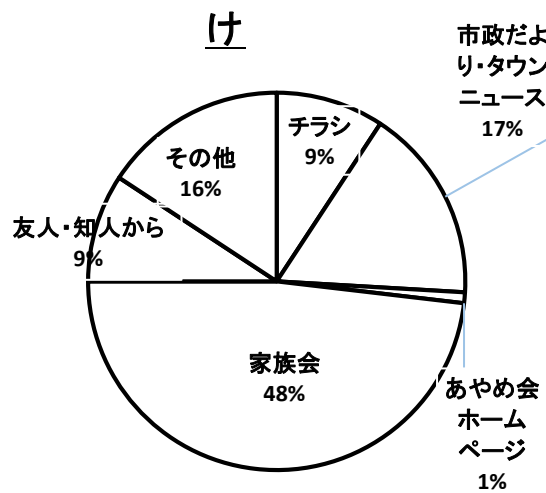
④立場
一般 10
支援者 13
当事者 12
家族 2
家族(親) 46
家族(きょうだい) 0
家族(配偶者) 2
家族(子ども) 1
家族(その他) 11
その他 11
記入なし 1



⑤大会を知ったきっかけ
(複数回答)

チラシ	10
市政だより・タウンニュース	18
あやめ会ホームページ	1
家族会	52
友人・知人から	10
その他	17

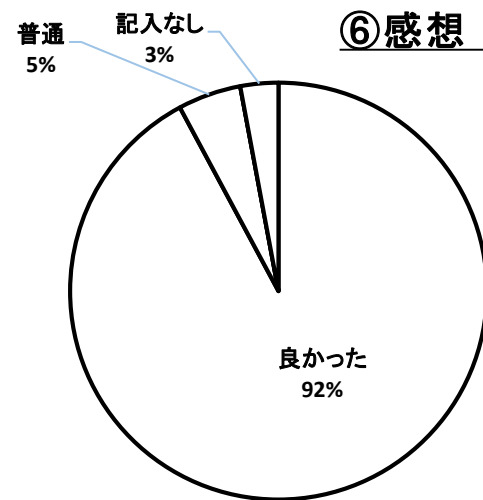
⑤大会を知ったきっかけ



⑥感想 講演

良かった	94
普通	5
良くなかった	0
記入なし	3

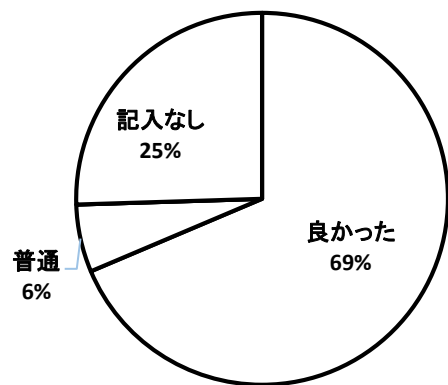
⑥感想 講演



⑥感想 パネルディスカッション

良かった	70
普通	6
良くなかった	0
記入なし	26

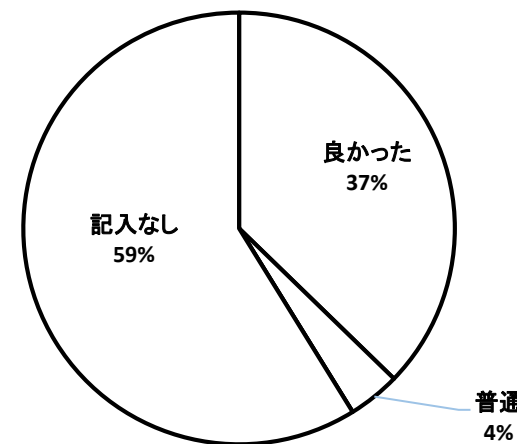
⑥感想 パネルディスカッション



⑥感想 ミニコンサート

良かった	38
普通	4
良くなかった	0
記入なし	60

⑥感想 ミニコンサート



⑥感想をお聞かせください

・経済的不安に保障をしっかりして欲しい

・白石先生の話はとても分かりやすかった。今後具体的に何をしていけばよいのだろう？という心が疑問は解けなかった。

シンポジストの方々の話も貴重だった。

・パネルディスカッションでいろんな人の話が聞けてよかったです。当事者だけでなく、支援者・家族の視点の話がよかったです。

・やはり当事者の方、当事者を抱える家族の方の生の声を聞いて私自身、父親が双極性感情障害のため、胸に響くとともに考えさせられました。

・内容が充実していて参加してよかったです。

・私も患者の一人として支援があることの大事なこと。みんなが安心してらせる社会。理解者を作る。統合失調症である自分にサポートがあると良いですね。病気になることが不幸でなく病に負けることが不幸

・自分との戦いで白石先生の言葉を借りて『できないことは人に「たのむ」ことができる人になる事』

・皆様と生きる生活と共に皆様の支えがある事。社会と生きるお話、皆様ありがとうございました。

・白石先生のお話はとても良かったです。

・とても良かったと思います。参考になりました。またの機会を楽しみにしています。

・先生の体験した、問題の重さ、環境や解決のヒントなど得るものが多かったです。

・白石先生の話が分かりやすくて良かったです。色々な話を聞くことが出来、勉強になりました。

・白石先生のお話で大変よくわかりました。清水さん(80歳には見えません。お若い！)の熱のあるお話。そのように聞けてとても安心できます。私も丹沢さんのようなこと何回もありました。長加部さんのお話も、もっともです。私たちのこと、もっとわかってほしいです。

・白石先生の「病識のない人もまるごと尊重する」ということをもっと実行していきたいと思いました。

・白石先生のお話大変参考になりました。「地域で暮らせるように」する支援「顔を立てる」「風〇(?)化」といったキーワードが心にひびきました。支援者としては「話す内容よりたくさん話すこと」というお話も勉強になりました。心のバリアフリーの一端を担えればと思います。パネルディスカッションでは当事者、家族の方のお話もとても興味深く聞かせていただきました。貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

・こういう会を多くやってもらいたい

・講演……とても勉強になりました。わかりやすくてよかったです。

・パネルディスカッション……それぞれの立場の生の声を聴くことができ興味深かったです。どの立場の人が上というのではなく、皆が同じという横の関係も感じられました。

本当に川崎らしい独自の支援システム(本当の支援という言葉から違和感を感じるつながり)が生まれることを切に願います。

- ・白石先生のお話はとても良かったです。自分が思っていることなどを本当によくお話をしてくださいました。人と接触をとるということがとても大切だということ
- ・白石先生のお話が大変勉強になりました。
- ・初めて参加致しました。とても具体的な話して勉強になりました。
- ・特にパネルディスカッションが〇〇談？が心に残る話が多かった。
- ・メリデン・ジャパンファミリーワークプロジェクトに興味があり、本人に話して参加可能の方向になるように努力したいと思いました。
- ・1部が長くなり、講演が短くなったのは、とても残念です。時間の中での動きをお願いします。
- ・初めての参加です。あやめ会があるということも知りませんでした。
- ・時間配分が難しいですね。当事者の方の2人の話は心にひびきました。またやっと白石先生の講演を聞くことができ、参考になりうれしく思います。ありがとうございます
- ・当事者及び関係者の実状、経験が聞けて良かった。
- ・ゆっくり聞きたい(再度お話を伺いたいです)元気をいただきました。
- ・白石先生のお話は分かりやすくとても良かったです。パネリストのお話が心にひびきました。
- ・大変良かったです。
- ・長い活動の中でのご発表に一つ一つの重みがあった。中でも環境の問題が重要であることに興味を持った。そして全てを認め尊敬し“話し合う”ことがキーであることも確認できました。お話良かったです。ありがとうございました。
- ・講演短かったが先生の云わんとするポイントが分かった。各々の分野の方のお話良かったがもう少し時間がほしかった。
- ・本人の家族の対応についても勉強になった。80歳を目の前にして、なんとか自立をしてほしいが本人は親が活着ている間は自立はしない、できないといいます。
- ・顔を立てることの大切を知った。そのようにしたいと思っているがつい相手の不見解(?)を言い立ててしまっていた。大反省
- ・講演だけに十分時間を取った機会を作ってほしい。
- ・生々しい話を聞けて良かった。
- ・充実した内容の講演とパネルディスカッションでした。地域の人と人のつながりが地域力UPにつながること・・・地域包括ケアシステムの精神障害者分野の充実が課題にあげられ、これからより一層の川崎市内に暮らしている精神障害者が生き生きと人生を楽しむとができるよう期待しています。
- ・たくさん話すこと、話せるような関係づくり。その人をそのまま尊重できるように、日々の生活でも取り組んでいきたい。
- ・時間の制約があるが皆様の協力がよく順調に進んだ、内容の濃い大会であったと思います。欲を言えば会場の参加者の声も拾っていただきながら対話形式でできたらさらに深まったのではないのでしょうか？
- ・さまざまは思い、状況、ご苦労など知れて今後の役に立てていきたいと思いました。

- ・精神障害の家族の重さを感じました。
- ・最初の挨拶もパネルディスカッションもミニコンサートもどれもとても感動しました。ありがとうございました。
- ・基調講演は現実の治療にあたっていた先生の解説には説得力がありました。提案も賛同いたします。
- ・初めて参加したので詳しいことはわからないが、多岐にわたる訪問支援が必要と思った。協力することがあれば協力したい。また、社会に広く知ってもらうにはどうすればよいかと思った。本人、家族の方のご苦労がわかった。経済的なバックアップの為にどう協力すればよいか、もっと政治家に介入してもらいたい。
- ・白石先生のお話をもっとお聞きしたいと思います。当事者のお話をお聴きするのが大変ありがたかった。
- ・「自立は相談する力によってもたせらる」という言葉が非常に印象に残りました。すべての人に共通することだと思いました。
- ・家族会の皆様の生の声が聞けて良かった。行政の方々も前向きな姿勢で安心しました。白石先生の講演はとても興味深く拝聴しました。その中で今日は「顔を立てる」ということを大切にしようと思いました。
- ・当事者ご家族が孤立
- ・白石先生のお話はとてもわかりやすかった。健常者も障害を持った方も上手に地域でつながれるとよいと思いました。また、その為に何が出来るか？考えます。
- ・日常生活にはいかに環境が大切かを再確認しました。支援者は触れ合った相手を丸ごと受容することに心がけています。
- ・当事者の方、ご家族の方の話により苦しさの一部を知ることができました。
- ・これまで障がい者に係る講演を聞いてきましたが、今日は別の角度からの話で、大変参考になりました。大変参考になりました。大変すばらしい講演でした。民生委員としても、活動に活かしていきたいと思っています。
- ・障害者福祉はそれぞれの家族の方の取り組みによることが多く、なかなか地域での存在が知られることが少なく何かできること、何をしてほしいのか、内容が見えにくいところがあり、どうしたらよいか不安の方が多い。これからは見える化知って頂くことなど課題が多いと思う。
- ・民生委員の立場で障害について学ぶことが出来ました。初めて聞く言葉、内容が多く非常に勉強になりました。

⑦本日の感想をお聞かせください。日常生活のこと、地域とのつながりのことなど身近なことでけっこうです。頂いたご意見は今後のあやめ会活動の参考とさせていただきます。

- ・日常生活は大変不自由です。特に三食、アルコール依存、外出し難い。子供たちの文句が多すぎ疲れる。高齢者の気持。
- ・訪問活動がますます発展できるよう、訪問の必要性などを発信していくことが大切だと感じました。
- ・日頃窓の会にお世話になっており、スタッフの方々の優しい接し方がとてもうれしいです。窓の会の存在は本当に有りがたいです。
- ・皆様色々なお話をありがとうございました！！宗教を考える。コミュニケーションをとること。また逢いましょう。

・精神病患者への偏見は今も強く残っていると思います。(住んでいる地域、職場等)50年も前からあやめ会の活動に感謝すると共に益々の発展をのぞみます。国・県・市を挙げての取り組み援助も強く望みます。当事者ですが困った時の相談窓口が知りたいです。

・歌もうたえて良かったです。フルートきれいでした。

・これまでの家族の方々のご努力と活動に敬意を表します。また、こすぎ会でメール便の活動が続いていること、とても嬉しく感動いたしました。以前に見学に伺ったことがありましたので、今日はありがとうございました。

・高齢化、資金難などもあるが日本全体の社会が変わらなければ解決しないと思います。長期入院は異常です。入院が恐怖でかえって社会復帰を妨げています。

・当事者の周り支援関係者以外では現状を把握していないのが実情。一般の人の差別意識も減らすためにも外に向けての活動も必要。

・ありがとうございました。あやめ会のご活躍がよくわかりました。横浜市ともよろしく願いいたします。

・一番気になることは私たちがいなくなったらどうするのか？近所の方に娘の病気事は話せない。お付き合いしていただけなくなると思うので。何かあったときどちらへ相談したらよいのか？

・家族会があることを知った有意義な講演でした。時間割に……………。

・本人が家から出て行けないので訪問支援を相談しようと思っています。

・分かりやすく話してくださりとても勉強になりました。これから少しずつ興味を持ったところから精神保健分野の理解を深めていきたいと思っています。

・全国精神障害者家族連合会の活動の内容と初めて知りご家族の方々の強い味方であり心強くなれる団体を知る。

・本日のように家族会の皆様が一堂に会しての話しを聞き、あやめ会の活動が良くわかりました。これからも、このような集会があったら参加したいと思っています。

・当事者二人の話が実感しました。

・本人の話が良く話されて実感がわいてきた。

・何回かケア施設数か所に相談はしましたが、一方的に当方の内情を聞くのみで具体的な動きはありませんでした。相談の仕方が悪いのかどうか分からないまま現状を生活しています。窓口対応がどこも同じようなので、どうしたらよいかわかりません。相談窓口の一元化があればと思います。

・そのままをみとめる。を心に強く留めました。白石先生の長い経験からくる愛のまなざしを学びました。

・病院へも行かず家族だけで固まっています。良いお話を聞くことが出来ました。

・司会進行役の方の進行がすばらしい。総会においても単会紹介、事業所紹介の企画があって、それぞれの状況が知ることができて良かった。白石先生の講演は特に良かった。パネルも大変良かった。

・私は家族会(もくよう会)に入会していました。現在は入会はしていませんが昨年PSWの資格を取りました。自分でできることとして品川区の就労移行支援を行っていますが、川崎で何か役にたつことができるかと強く思うようになりました。

- ・白石先生のお話をゆっくり伺いたいです。
- ・息子はひきこもりがちですのでワーカーさんなどから訪問していただきたいと思っています。親亡き後が心配です。良い支援をお願いします。歯科、内科にかかっても費用が多く経済的支援を希望します。
- ・当事者の方、家族の方の切実な貴重なお話をうかがって、考えさせられました。
- ・実際に困ったときの対応の仕方にどうしたら解決に結びつくかまだ難しいと感じます。
- ・本日はこのような企画ありがとうございました。本日のテーマ地域と共に歩む精神保健福祉の中の精神の部がやっと取り入れられたとのことですが、他の障害と比べ精神は非常に分かりにくい分野だと思います。今後もよりていねいな、細かいご配慮、ご指導ご尽力をお願いしたいと思っています。最後のミニコンサート心やすらぐひとときでした。
- ・40年来息子の容態に向き合い今月まで来ました。麻生区で増野教授ご夫妻にサイコドラマのご指導を賜ったものですが今度あやめ会(泰山木の会)入れていただき、残された諸問題にどう立ち向かったらよいか苦悩の毎日の中、かすかに荒野に星を見つけた思いで心が温かくなりました。これからのお導きをお願いいたしますとともに心から厚くお礼申し上げます。あやめ会よ永遠に！！
- ・議員さんが大勢来ていたことにびっくり、また大勢の参加者ですさすがに川崎の会はすごいなと思いました。障害者関係でない地域の方はこの中にどれ程いたでしょうか。地域啓発の場を是非やって下さい。最後にみんなでうたったのは良かったですね。川崎市は多くの点で恵まれてますね。
- ・親亡き後、地域の中で本当に一人で生きていけるのか。支援はどのような形であるのだろうか。親も死を間近にする前に決めておきたいことが山ほどあるが本人の考えを取り入れなくてはならないことが障害となって、結局何も進めない。ケセラセラなのでしょうか。
- ・「精神病の正体」大塚明彦先生(幻冬舎)は病気の根元(ADHD)を直せばその他の枝、葉(精神病)は治るといっているが、どう考えても(ここで記述終わり)
- ・それぞれの立場からの意見同感できました。実現の方向にお互い努めたいと思います。
- ・本人がひきこもり状態が続くと親ばかりあちこちでかけるだけではどうにも発展性がない。親が年を取ることで先が心配で老後の自分の問題とがぶり見通しのない未来がこわいです。別のグループには所属しあやめ会には入ってません。
- ・当事者の方の話、涙をなくしては聴けませんでした。精神障がい者に対する偏見、差別は根強いものです。社会を変えることは大変ですがそれが先決だと思います。また交通費、医療費を無料化は全国共通にしてもらいたいと思います。
*もう少し時間が欲しかったですね。
- ・他県別世帯の子供が双極性障害と診断され、いろいろ相談窓口をさがしている所でタウンニュースであやめ会のシンポを知って参加。家族会のことをはじめて知った。広く市民にその存在を知っていただく。困っている人が入りやすいなどオープンな広報があればと感じた。市としてまたは、あやめ会として各単会や4事業所の活動、役割を公開していただくことがより良い地域サポート体制ができるのでは？と感じた。
- ・それぞれの立場にあった経験、思いに同感いたしました。
- ・インフォーマルな社会資源が活動になることが地域を元気にさせると気づきました。川崎は全国でも先駆的な役割を果たしていると思います。

- ・50周年おめでとうございます。当事者の回復にピアの力が欠かせないように家族の回復にも家族会、家族の力が欠かせないと思います。50年間、大切にバトンをつないでくださったことに心からの経緯を表します。いつもありがとうございます。
- ・地域とは地域住民だけでなく企業や商店街など多岐にわかれると考えます。身近なところから繋がっていかれたらと思います。今後も一緒に汗を流していきましょう。よろしくお願いします。なかはら基幹
- ・障害者との区別なく皆全てそのまま存在していてOKなんだ！！という社会にすべての人々が取り組んでいかなければならないと思いました。
- ・困っていると言えない人々の中でどうするかは〇〇？をとれないでつながりを保つことなのではないでしょうか
- ・各区に単会があることを知り、自分が常々考えている24時間いつでも立ち寄れる場所作りにご協力いただけないかと思いをはせます。現に医療につながっていない人でも心にダメージを受けている人は多いと思う。そういう人と病名をもらった人とは違うと思いますが「生きにくさ」という点では同じではないかと思う。何かの形で訪問させていただきたいと思います。
- ・シンポジウムもとてもよかったです。それからつぎですが、もっと私たちのような知的障害者が働きやすいようにしてほしいです。あともう少し理解をしてほしいです。おねがいします。
- ・一般の者がホーム等で障害の方の行動に不安がる人が多い。そんな時私たちはどう接したらよいか、一般の方や障害の方の両方に適切な接し方を教えていただきたいのですが質疑応答の時間がなかったことに少し残念な思いがいたしました。
- ・地域との結びつきをどうして良いかわからない方が多くいらっしゃると思います。家族会のご努力を応援いたします。地域ケアシステムについてもよくわからないという方が多くいらっしゃいますので広報活動をしっかりと行っていただきたい。
- ・各パネリストの方が正直に率直に語っていました。勉強になりました。地域ケアとしては当事者や家族が気軽に利用できるようにしてほしい。
- ・あやめ会、家族会の存在は初めて知った。できることは協力したいと思った。家族会は資金不足を話していた。協力したいが方法がわからない。市役所、コンビニ等に支援の箱を置いたらどうか。
- ・できることから少しずつ活動することの大切さをあらためて感じました。勇気をもって発信していきたいと思います。横のつながりを構築していただきたい(竹島先生のお話)とても期待しています。ひとりひとりの想いが世の中を良い方向に導いていくと信じています。
- ・記念式典が長引いてシンポジウムの時間が削られたのが残念でした。白石先生のお話、もっとゆっくり聴きたかったです。パネルディスカッションにコーディネータを2人立てられたのはなぜ？と思いました。登壇者が多くて少し散漫な印象を受けました。
- ・食事(栄養や食べやすさ)の大変さは気がつきませんでした。保健所の指導を受けながら調理師学校等と提携しあえるとよいと思いました。水平の関係というのも大事だと思いました。当事者も支援者を助けているということを当事者にわかてもらえると当事者も社会に貢献している自負と喜びを得られるのではないのでしょうか。119番関係は切に何とかしてほしい問題ですね。ミニコンサートで楽しく締めて心地よくなりました。トーンチャイム、懐かしい楽器でした。
- ・地域の作業所等の行事にお手伝いさせて頂いていますが家族会の歴史とご苦勞を改めて感じました。
- ・家族からの提案2010の7つの項目の解決を具体的につめる。議会を積極的に活用していただきたい。本人、家族支援(アウトリーチ)の在り方と家族支援(例えば、家族の避難場所の確保など)1つずつ具体的につめていくことが必要ではないか。

・高齢者メインに聞こえがちな地域包括ケアシステムですが、生きづらさを抱え生きている人皆がシステムにつながらないと意味がない。もっと現状を知ること、伝えることが必要だと感じた。

・民生委員の活動のなかで、障害者特に精神障害者の方からの相談等はほとんどありません。きょうの当事者の方、家族の方の話は驚きであると同時に民生委員がかかわることができるのかとの気持ちもありますが、当事者の方等の話は大変参考になりました。

・ご近所を支えあいの事業化にあたり障害者の方の理解と災害時の対応が具体化してゆく中で解決しなければいけない課題が多い。地域で顔の見える関係を作っていくことが大事だと思います。

・一番は本人の自覚が大事だと思うし大なり小なり人間皆今回のような病を持っているのではないかと感じます。病のからの中に入ってしまうのも如何なものかと思えます。

私の親戚にもいるのですがあまりにも大事にされすぎるのもどうかと思います。そして作業所等の低賃金もあまりにひどいと思います。
(当人は76才。入所は20代のころからのようです)

